

夜の谷を行く



[夜の谷を行く_下载链接1](#)

著者:桐野 夏生

出版者:文藝春秋

出版时间:2017-3-31

装帧:单行本

isbn:9784163906119

連合赤軍がひき起こした「あさま山荘」事件から四十年余。

その直前、山岳地帯で行なわれた「総括」と称する内部メンバー同士での批判により、12名がリンチで死亡した。

西田啓子は「総括」から逃げ出してきた一人だった。

親戚からはつまはじきにされ、両親は早くに亡くなり、いまはスポーツジムに通いながら、一人で細々と暮している。かろうじて妹の和子と、その娘・佳絵と交流はあるが、佳絵には過去を告げていない。

そんな中、元連合赤軍のメンバー・熊谷千代治から突然連絡がくる。時を同じくして、元連合赤軍最高幹部の永田洋子死刑囚が死亡したとニュースが流れる。

過去と決別したはずだった啓子だが、佳絵の結婚を機に逮捕されたことを告げ、関係がぎくしゃくし始める。さらには、結婚式をする予定のサイパンに、過去に起こした罪で逮捕される可能性があり、行けないことが発覚する。過去の恋人・久間伸郎や、連合赤軍について調べているライター・古市洋造から連絡があり、敬子は過去と直面せずにはいられなくなる。

いま明かされる「山岳ベース」で起こった出来事。「総括」とは何だったのか。集った女たちが夢見たものとは――。啓子は何を思い、何と戦っていたのか。

桐野夏生が挑む、「連合赤軍」の真実。

作者介绍:

目录:

[夜の谷を行く_下载链接1](#)

标签

桐野夏生

小说

2018年已读记录

评论

和《异常》比差太多了，感觉这次写得好草率！果然只有短短300页无法展开？但故事又谈单薄，太肤浅了！这不是我知道的那个着眼现实批判现实的桐野，感觉只是借助联合赤军事事件写了个东野圭吾的故事……唯一亮点是311灾害着墨很多而且起了很重要的推动故事进展的作用，觉得想写311又想写联合赤军，似乎在试图将两种做一种历史的联系，似乎想说311是一个时代的结束和开始？但结尾很糟糕什么都没点到……

[夜の谷に行く_下载链接1](#)

书评

[夜の谷に行く_下载链接1](#)